

益城町テクノ仮設団地内で建設する「くまもと型復興住宅」

新たなモデル住宅を建設する 展示グループ2団体を決定しました！

現在、益城町テクノ仮設団地内で建設中の「くまもと型復興住宅^{*1}」のモデル住宅に続き、隣接区画に新たなモデル住宅を建設する展示グループ2団体を決定しましたので、お知らせします。

新たな2棟については、来月以降順次建設工事を開始します。

1 新たな展示グループ2団体及びモデル住宅の概要

	展示グループ①	展示グループ②
グループ名称	建築士会・くまもと復興の家グループ	こきげん 五木源住宅復興支援チーム
グループの説明	熊本県建築士会を中心とし、地域型グリーン化事業 ^{*2} に取り組む設計者、施工者等により構成されたグループ	五木源住宅（五木村産の葉枯らし乾燥材 ^{*3} を使用した住宅）に関わる設計者、施工者等により構成されたグループ
構造・規模	木造平家建て 63.76㎡ (約19.3坪)	木造2階建て 66.34㎡ (約20.1坪)
販売予定価格(税別)	960万円	1,000万円
着工予定時期(予定)	平成28年11月上旬	平成28年12月上旬
完成予定時期(予定)	平成29年1月上旬	平成29年2月下旬
共通事項	県産木材を使用した木造住宅 耐震等級3（建築基準法の1.5倍相当の強度：最上級） 販売予定価格に含まれない費用等 （土地購入費、土地造成費、地盤改良工事費、外部給排水設備工事費、外構工事費、給湯機器、浄化槽、エアコン、カーテン、造作家具、各種手続き費用、各種税金）	

2 建物イメージ

展示グループ① 建築士会・くまもと復興の家グループ

住宅の特徴

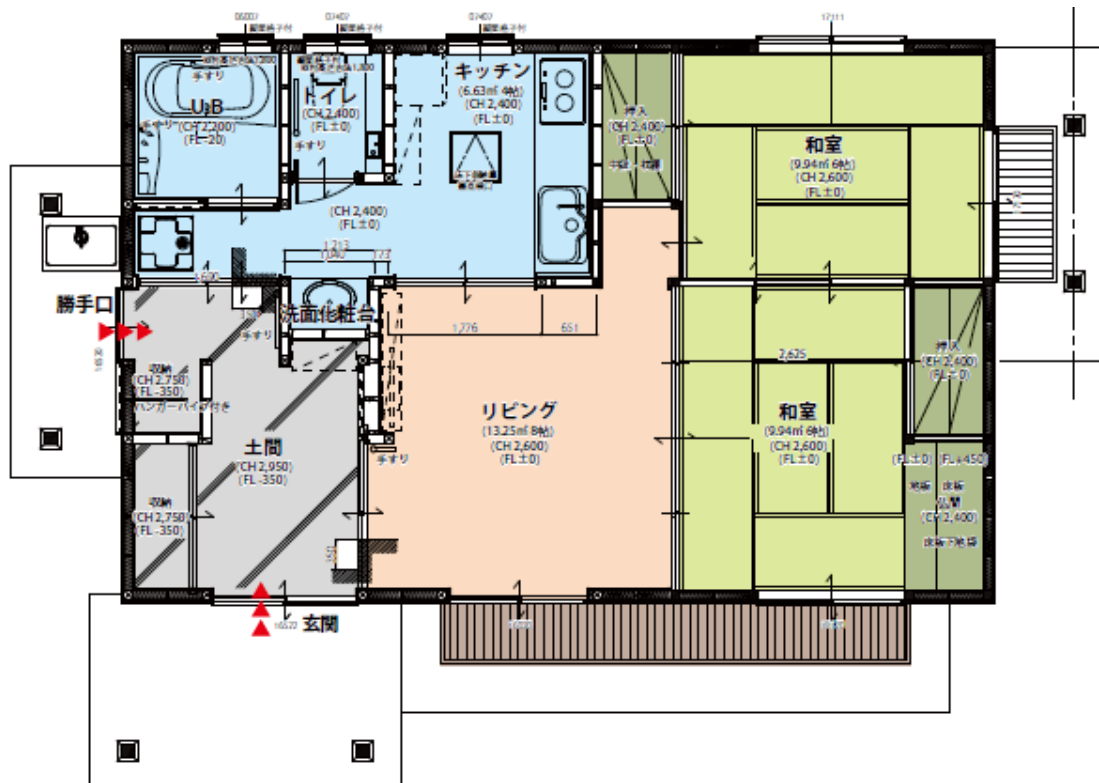
土間を持つ玄関のある農家でも使いやすい住宅。

使い勝手の良い二間続きの和室のある居心地の良い空間。

【外観イメージ】



【平面プラン】



展示グループ② 五木源住宅復興支援チーム

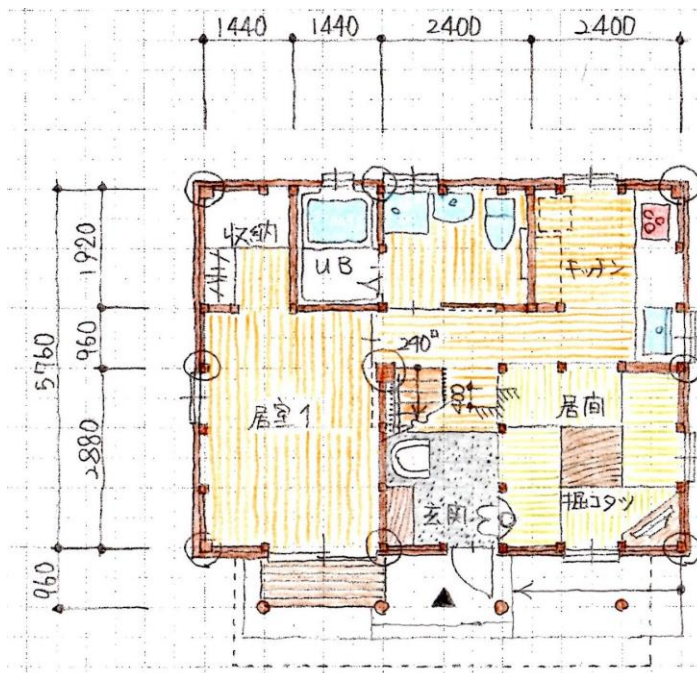
住宅の特徴

五木村の葉枯らし乾燥材をふんだんに使用した2階建て住宅。
床、壁、天井などの内装にも木材が使用された、安らぎのある健康的な空間。

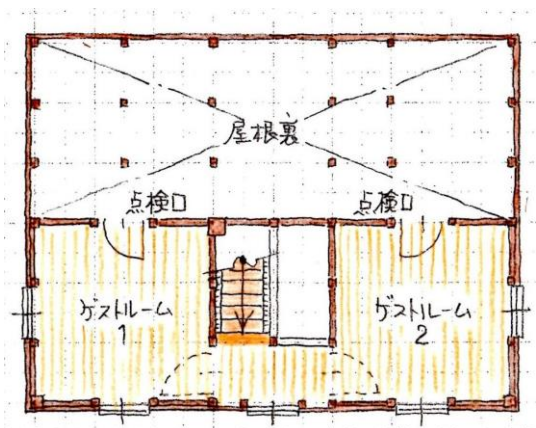
【外観イメージ】



【平面プラン】

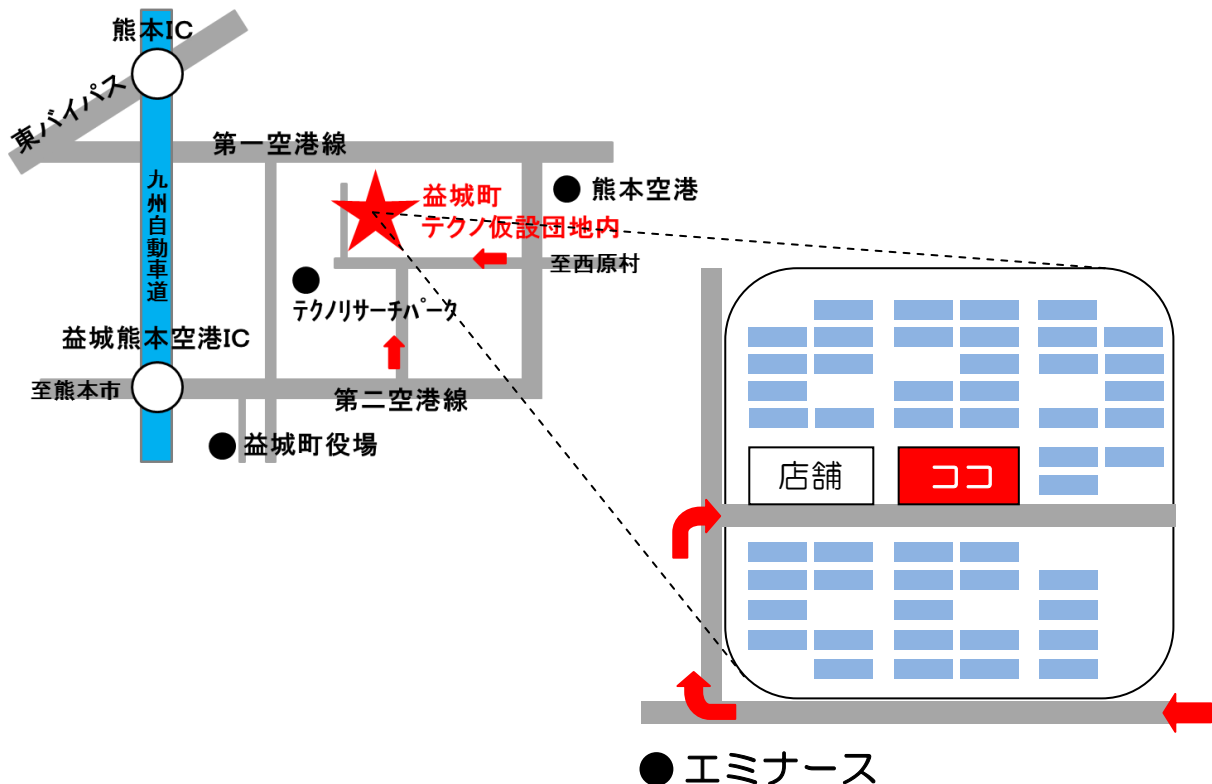


1F



2F

3 建設場所 益城町テクノ仮設団地内



【語句の説明】

- ※1 「くまもと型復興住宅」とは、熊本の地域産材を活用した良質でコスト低減に配慮した木造住宅として熊本県地域型復興住宅推進協議会（県内建築団体等で構成された協議会）が認める住宅です。
- ※2 「地域型グリーン化事業」とは、地域における木造住宅生産体制を強化し、環境負荷の低減を図るため中小住宅生産者等が、他の中小住宅生産者や木材、建材流通等の関連事業者とともに連携体制（グループ）を構築して省エネルギー性能や耐久性等に優れた木造住宅・建築物の整備やこれと併せて行う三世同居への対応等に対して支援を行うことにより、消費者の信頼性の向上等を目指す国庫補助事業です。
- ※3 「葉枯らし乾燥材」とは、枝葉をつけたまま山に3ヶ月ほど置いておき自然乾燥させたもので、葉から水分を蒸発させることで、木の色・艶・香りが良く、耐久性や防腐性が高まるなど、優れた木材です。

お問い合わせ先

土木部建築住宅局住宅課 小路永、折田、土黒
（内線番号6245、ダイヤルイン333-2547）